



山岡けんじ

線路部品落下は過失か故意か?

49橋りょう下に714個の部品落下!

橋りょう下への線路部品落下について労使協議申し入れ

会社は5月31日「橋りょう下に落下させた線路部品の調査結果」をホームページで公表しました。この調査は、東海道線天竜川橋りょう下の中州で線路部品と思われる部品が発見されたとの情報が寄せられたことを踏まえ実施したとしています。公表によれば、調査対象（天竜川橋りょうと同様構造の橋りょう）1,479橋りょう（在来線・新幹線）のうち49橋りょう（在来線のみ）の下で714個の線路部品が発見されたとされています。そのうち405個は天竜川橋りょうの下で発見されたとされています。

会社発表では、調査のきっかけとなった天竜川橋りょうでの線路部品落下も含め、工事請負会社の過失なのか故意なのかははっきりしません。会社は大きく3点の再発防止策（取り外した部品は速やかにかご等に入れる、安全ネット等を設置する、会社が工事施工後の現地を確認する）を発表しましたが、それらはこのようなことが今まで徹底されていなかったのか!という対策でしかありません。

橋りょう下には通行人や釣り人がいます。新幹線の保守作業中で発生したパネル版落下同様、部品落下で通行人他に怪我を負わせてはなりません。

JR東海労はこの発表に関し『申第44号』として労使協議を申し入れました。

線路部品 鉄橋下に散乱

天竜川中州 JRが原因調査

浜松、磐田両市境付近のJR東海道線「天竜川橋りょう」下の同川中州で5日、線路の部品と見られる金属類約250点が散乱しているのを付近で釣りをしていた人が見つけ、

連絡を受けた天竜川漁協が同日、回収した。

このため、JR東海静岡支社は同日夕、鉄橋を点検したが、部品の欠落などの異常は見つからなかった。7日午前と同漁協からすべ

を受け、原因を調べている。

同支社によると、金属類はレールを固定するための六角形のナットや板バネなど。現場では2〜3月に線路部品の交換を行ったことから、同支社は金属類が当時の作業で出た不用部品の可能性もあるとみて作業の請負業者から事情を聴いている。

属類が線路に沿うように同鉄橋の南側に散らばっていたという。川の中には金属が落ちて

いる可能性があるという

ての金属類の引き渡し



6種類の金属類などの天竜川漁協